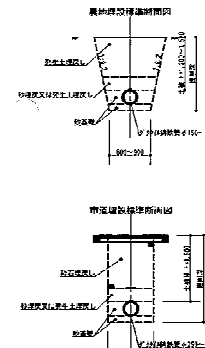
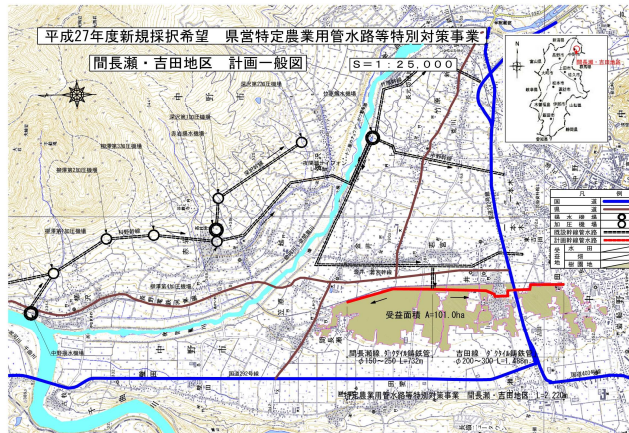


(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営農村地域防災減災事業(水路等の補強)					
事業毎の通番		2	市町村名	中野市	箇所名(ふりがな)	間長瀬・吉田(まながせ・よしだ)	
事業概要	事業目的	本地区は、昭和44年度～昭和45年度にかけて建設された農業用管路であり、先進的な果樹栽培が行われている農地を潤す重要な施設である。しかし管体は主に石綿管であり、近年は老朽化に伴う管の破損、継手部の変状による漏水事故が多発し、多大な農業被害が発生している。 本事業において、石綿管をダクタイル鉄管に布設替えることで、農業用水の安定確保と施設の維持管理費の低減により、農業経営の安定を図るとともに、健康被害が懸念される石綿管を早急に廃棄処分する必要がある。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上	事業実施の根拠法令等	土地改良法			
	関連する事業、計画等	中野市の他の用水系統については、基幹ストマネ事業等により実施予定である。					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	本事業により、保全する農地は、受益と同一であり、別図による。 受益面積 101.0ha					
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.19	国庫	104,500	19,000
	全体事業内容(主な工種)	現況の石綿管をダクタイル管へ更新 φ150～300 L=2220m			190,000	59,000	7,500
年度事業内容(主な工種)	測量・設計業務委託 一式			6,000	3,300	1,100	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	老朽化した石綿管をダクタイル管へ更新することにより、破管による補修対応に要する労力を低減するとともに修繕費等を減らすことで農家の負担を低減することができる。					
	間接的効果(定量的・定性的)	健康被害が懸念される石綿管を処分処理することにより、安全な営農活動を行うことができる。					
評価の視点	必要性	設置から約40年を経過した石綿管は破管事故がたびたび発生しており、その都度補修対応を行っているが、年々補修箇所も増え、費用も農家への大きな負担となっている。また、石綿管であることから健康被害も懸念されており、早期の更新が望まれている。				評価	A
	重要性	本地区は、年間の降水量が平均940mmと少なく、干ばつ対策を行う必要があり、昭和44年度より県営かんがい排水事業により管路が整備されたものである。本管路は、中野市の果樹地帯を潤す基幹的な水利施設として機能している。				評価	A
	効率性	本地区は、幹線水路であり、ぶどうやリンゴを中心に果樹栽培が盛んな地域となっていることから、費用対効果は1.19となっている。				評価	B
	緊急性	本地区の管路は、末端のスプリンクラーまで配水するため、加圧管となっている。そのため、石綿管が破管することにより、漏水するとともに、圧力低下による末端までの配水不良を起こしている。				評価	A
	計画熟度	平成26年3月24日、長野県中野土地改良区の総代会において、本地区の事業計画について議案提出し承認済である。				評価	A
	部意見	施設の老朽化が著しく、石綿を含有する製品の破損等により、将来的に農業者等の健康を害するおそれが懸念されることから早急に改修する必要がある。	行政改革課意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



破管したため、畑地の地表に水たまりが発生している。漏水状況の確認

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	現況施設は、昭和44年度より、県営かんがい排水事業により整備され、その後、維持管理の中で部分更新等を行いながら現在に至っている。近年、施設の老朽化も進み維持管理費も嵩むとともに、石綿管による健康被害も懸念されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	長野県中野土地改良区常任委員会において、維持管理費の増大が検討され、本事業を導入することによる費用の軽減及び石綿管の撤去を進めることとなった。
③事業説明等の経緯	平成25年8月20日 長野県中野土地改良区理事会において、本事業を導入することを決定。 平成25年9月18日 長野県中野土地改良区臨時総代会において、事業導入を了承 平成26年3月24日 長野県中野土地改良区通常総代会において、事業実施の承認を受ける。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	本事業と同時に、基幹水利施設ストックマネジメント事業により、千曲川から取水している幹線水路の補修を進めている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区は、「環境配慮区域」に指定されていることから、石綿管に処理については、関係法令を遵守する。また、本事業の導入により、耕作放棄による景観の荒廃がないよう指導を行っていく。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業の導入により、安定した営農活動を維持するとともに、耕作放棄に伴う景観の荒廃を防ぐ。健康被害が懸念される石綿管を処分することにより地域住民に対しても定住化を促進することができる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36度45分35 東経:E 138度21分47